

平成30年度 学校教育活動に対するアンケート集計（保護者）

知夫村立知夫小中学校

このアンケートは、今年度、知夫小中学校が「学校教育目標：未来を切り拓く、心豊かでたくましい知夫の子どもを育成する」や「めざす子ども像：自ら学ぶ子ども（創造）・共に生きる子ども（共生）・たくましく生きる子ども（自立）・ふるさとを愛する子ども（愛郷）」を実現するために実施してきた学校教育活動について、保護者の皆様のご意見をいただくために行います。アンケート結果を参考にして、来年度に向けての話し合いを行い、より良い学校づくりにつなげていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

設問1～6は、それぞれのお子様の家での様子についてお答えください。設問7～22は、長子のお子様のアンケート用紙のみお答えください。

なお、答えにくい項目については答えられる範囲内で結構です。

A: そう思う	B: まあまあそう思う	C: あまりそう思わない	D: そう思わない	★: わからない
A: 4点	B: 3点	C: 2点	D: 1点	★: 0点(母数より除く)
平均 3.1以上	→ おおむねよい			
平均 3.0	→ まあよい			
平均 2.6以上2.9以下	→ あまりよくない			
平均 2.5以下	→ よくない			

平成30年
12月実施
集計: 24/33
(回収率72.7%)

No.	項目	A	B	C	D	★	H30	H29
1	子どもは、学校に喜んで通っている。	15	14	3	2		3.2	3.4
2	子どもは、元氣よく挨拶をしたり、場に応じた適切な言葉遣いをしたりしている。	9	22	2		1	3.2	3.0
3	子どもは、課外活動（全陸岐陸上（小中）、島前陸上（小）や全陸岐駅伝（中）、バスケット大会（小）や部活動（中）等）に積極的に参加している。	17	11	1	4	1	3.2	3.3
4	子どもは、家庭学習の時間を確保し、学習習慣が定着している。	5	17	10	2		2.7	2.8
5	子どもは、学校で配布された文書をきちんと渡している。	9	15	7	1	2	3.0	3.0
6	子どもは、テレビやマンガ、ゲームやインターネットに対して節制しようとしている。	9	12	11	2		2.8	2.7
7	学校は、「学校教育目標」や「めざす子ども像」の実現を目指し、特色ある教育活動を行っている。	15	9	2		3	3.5	3.1
8	学校は、わかりやすい授業やトライタイム（小）・チャレンジタイム（中）を行い、成果を上げている。	5	12	2		5	3.2	2.8
9	学校は、子どものまがった言動を適切に指導している。	5	7	6	1	5	2.8	2.7
10	学校は、子どものことについての相談について、家庭訪問や個人面談・三者面談等で適切に対応している。	13	9	1	0	1	3.5	3.4
11	学校は、課外活動（全陸岐陸上（小中）、島前陸上（小）や全陸岐駅伝（中）、バスケット大会（小）や部活動（中）等）に対して適切に指導している。	11	10	1	0	2	3.5	3.3
12	学校は、家庭学習の習慣づくりに対して適切に指導している。	7	12	2		3	3.2	2.6
13	学校は、朝読書をはじめ、読書習慣が身につくよう指導している。	7	9	3		5	3.2	項目なし
14	学校は、テレビやマンガ、ゲームやインターネットの時間に対して適切に指導している。	9	10	2		3	3.3	2.7
15	学校は、校報や学級だより、懇談や面談等によって、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている。	9	12	1	0	2	3.4	3.3
16	学校は、来校しやすい雰囲気がある。	12	9	1	1	1	3.4	3.1
17	学校は、PTA活動や参観日等とおして、保護者や地域との連携・協力を大切にしている。	15	7	0	0	3	3.7	3.0
18	学校は、校内でのけがや体調不良に対して、適切に対応している。	12	8	2		2	3.5	3.5
19	学校は、子ども達の事故防止や防犯対策等の安全教育に対して適切に取り組んでいる。	8	12	1		3	3.3	3.3
20	学校の施設・設備等の環境面は、満足できる状態である。	13	6	3		2	3.5	3.5
21	家庭では、「早寝・早起き・朝ご飯」等、子どもの規則正しい生活習慣に気を配っている。	14	8	2			3.5	3.4
22	家庭では、テレビやマンガ、ゲームやインターネットの時間、家庭学習の時間等について気を配っている。	7	12	4	1		3.0	3.4

学校評価の結果より

2学期末に学校評価を行いました。保護者や学校関係者の皆様には、お忙しい中、ご協力をいただき、ありがとうございました。概ね良い結果が見られましたが、特に、保護者の皆様からは「家庭や地域との連携」について、また学校評議員や民生委員の皆様からは「ふるさと教育や情報発信」について高評価をいただきました。これも、諸活動における連携を密にした取り組みの成果であると捉えています。一方、教職員による自己評価と合わせて、次のようなことが課題としてあげられました。

①学力の向上

小中連携による授業研究をはじめ、トライタイムや学力パワーアップの取り組み等が、子どもたちの学力向上に少しずつ結びついています。しかし、自主的に学ぶ姿勢には課題があり、家庭学習も十分とは言えないようです。夢や希望、進路を意識した学校生活を送れるようキャリア教育にも力を入れていきます。

②ふるまいの向上

「挨拶」については良い評価がありましたが、「言葉遣い」については課題があり、現在、学校でも指導に取り組んでいます。「清掃」や「時間を守る」指導と合わせ、教職員が毅然とした態度で指導を進めていきます。

③メディアの指導

1学期からメディアについての指導に取り組んできました。生活チェックシートの取り組みの結果を見ると、少しずつその成果が表れています。しかし、今回の評価の結果からは、「ゲームやインターネットの節制」にはまだ課題が見られます。引き続き、家庭との連携による指導を進めていきます。

以上3点が主な内容ですが、その他、皆様からたくさんの貴重なご意見をいただきました。一つ一つをしっかりと受け止め、よりよい学校を目指して全教職員で指導に取り組んでまいります。保護者や地域の皆様の温かいご指導をよろしくお願いいたします。

給食について考える 給食週間

毎年一月二十四日～三十日は、「学校給食週間」です。そこで、今年度もいろいろな機会を通して、学校給食週間前の全校集会では、実際に調理員さんにお越しいただいて学びました。一つ一つの考えられた細やかな作業やおいしく作るコツを知ったり実際に使ったりしました。調理員さんの仕事の大変さと共に、調理員さんの給食作りへの思いを知ることができました。

また、毎日の給食時間には、身近にいる給食関係者さんやその人たちの仕事について、給食の放送や掲示物を通して知ることができました。自分たちが食べている給食は、より多くの人の力で作られていることをあらためて確認しました。児童生徒一人一人が給食関係者さんたちにメッセージカードを書き渡す活動で給食関係者さんにも渡すメッセージカードを作りました。子どもたちの工夫や気持ちの詰まったメッセージカード（一月二十五日）時に、感謝の言葉とともに渡しました。こうした活動を通して、給食はいろいろな方々の力や思いが重なって自分たちのためになることや、給食の有り難さを改めて感じることもできました。



また、学校給食週間中には、給食メニューに取り入れられた県内の他地域や他県の料理を味わう際に食することを通して、その地方の食材や独特な料理法について学んだり、味や食感などを体験したりします。

★小中学校のみなさんへ★
給食を食べてくれてありがとうございます。私たちがみんな喜んで食べている給食は、虫や菌が入らないように調理師さんが一生懸命に作ってくれています。調理師さん、ありがとうございます。

野菜生産者さんへ
いつもエネルギーのある野菜を作ってくれて、ありがとうございます。これからもよろしくおねがいします。この野菜を育ててくださり、ありがとうございます。これからも、がんばってくださいます。

調理員さんへ
いつもおいしい給食をありがとうございます。調理師さん、給食の準備や調理は、とても大変な仕事だと思います。調理員さん、いつもありがとうございます。これからも、おいしい給食を作ってください。

ゴミ収集員さんへ
いつもゴミを毎日きれいに回収してくださるありがとうございます。ゴミをきれいに回収していただくことで、私たちの生活が快適になります。これからも、ご協力をお願いします。

教育委員会さんへ
いつも給食のお金の計算をしてくださるありがとうございます。おかげでおいしい給食を食べられます。これからもお体に気をつけてがんばってください。

お礼ありがとうございます

今年度は、中学部の学習指導要領をお招きして、和美的な紙幣を作りました。二月初めは、全学年一斉に書き初めをしました。行書の先生たちもがんばりました。一生懸命に取り組むことができたと思います。お忙しい中、来てくださりありがとうございました。お忙しい中、来てくださりありがとうございました。



（国語担当）